

令和5年度

高規格救急車購入事業

仕様書

由布市消防本部

第1章 総則

1. 目的

この仕様書は 由布市消防本部（以下「当本部」という。）が令和5年度に購入する高規格救急車「救急庄内1号」を製作するに必要な事項を定めるものとする。

2. 適合法令

完成車は、次に掲げる法令その他関係法令等に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。

- (1) 道路運送車両法（昭和26年法律第185号）
- (2) 道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）
- (3) 救急業務実施基準
- (4) その他関係ある法令及び通達

3. 仕様打ち合わせ

受注者は、製作に当たり当本部と十分に打ち合わせするものとし、本仕様書の記載事項に疑義が生じた場合には、当本部担当者に連絡の上承認または指示を受けるものとする。

4. 検査

検査は、以下のとおりとする。

(1) 中間検査

本仕様書及び製作承認図に基づき製作工程を考慮し、当本部担当者立会いのもと、納期に支障ない段階で行うこと。

(2) 完成検査

納車時に当本部にて行うこと。受注業者は検査担当課の指示に従い検査を受けること。

5. 契約の範囲

(1) 受注業者は、新規登録及び納車までに要する費用を負担すること。但し、自賠償保険・重量税及びリサイクル料は当本部の負担とする。

(2) 設計又は構造上、技術的に判断して、本仕様書の事項を改める必要がある場合当本部の承認を得た後、それを実行すること。

(3) 新規救急車の購入に伴い、既存の救急庄内1号が当本部の予備車となるため、変更及び廃車（現予備車）に必要な諸経費等も契約の範囲内とする。

(4) 本仕様書に定めていない事項についても、納入業者が公表した仕様及び工作上当然なことは、これを施し、不明な点は当本部と協議し、指示に従うものとする。

(5) 受注業者は、納入時に燃料を満量にすること。

6. 提出書類

(1) 製作前提出書類（製作納入図）

受注業者は、製作に先立ち以下の書類を提出し、承認を得た後に製作すること。書類は、A4 ファイル綴りとし、2部提出すること。

- ・ 製作工程表
- ・ 車両外観5面図
- ・ 車両記入文字レイアウト図
- ・ シャーシ一覧表（型式・諸元等）
- ・ 積載物品配置図
- ・ 資器材庫等の取り付け図
- ・ 計器盤関係図
- ・ 電気配線図
- ・ その他必要と思われる図面等

(2) 完成時提出書類

受注業者は、納入時に以下の書類を提出すること。書類は、完成図書と取り扱い説明書はそれぞれ2部ずつ提出すること。又、点検整備書及び保証書も指定部数提出のこと。

① 完成図書

- ・ 登録後の5面写真
- ・ 製作工程写真
- ・ 主要諸元及び装備等一覧表
- ・ 自動車検査証の写し
- ・ 自動車賠償責任保険証の写し
- ・ 自動車保管場所証明証
- ・ 各検査結果の写し
- ・ その他当本部で指示したもの

② 取り扱い説明書

- ・ 完成5面図
- ・ 使用ヒューズ一覧表（系統名・個数・型式・アンペア数等）
- ・ 電気配線図
- ・ シャーシ取扱説明書
- ・ 積載品、付属品取扱説明書（必要と思われるもの）

③ その他の提出書類

- ・ 緊急自動車届出確認書
- ・ 車両点検整備書 (1部)
- ・ 保証書 (1部)
- ・ 各種パーツリスト、サービスマニュアル

7. 同等品の認定について

同等品とは、規格・品質が基準品と同等以上であるものをいう。

本仕様書における物品以外で入札する場合は、必ず書面にて同等品の事前確認を行い、承認を得たうえで行うこと。

8. その他

受注者は納入にあたり、取り扱い説明を行うこと。

9. 保証期間

保証期間は1年とする。但し、メーカーの公表した保証期間が1年より長い場合は、それを尊重すること。

なお、保証期間後であっても、設計不良・製作不良あるいは、材料不良に起因する不具合が発生した場合は、受注者が直ちに無償で、修理又は交換を行うこと。

10. 納入期限

令和6年3月19日

11. 納入場所

大分県由布市挾間町挾間278番地 由布市消防本部

第2章 仕様

1. 車両は次によるものとする。

- (1) 別表1「高規格救急車機装等」のとおりとすること。
- (2) 車体は全有蓋で密閉式構造であること。
- (3) 車内の照明は、救急隊員の業務遂行に支障のない照度を有するものであること。また、傷病者の症状により照度の調整が可能な機能を有すること。
- (4) 車体後部は、ストレッチャーによる搬入が容易に行われる構造であること。
- (5) 傷病者を収容する部分の空間及び室内高は、救急業務実施基準第14条に定める資器材を用いた業務の遂行に支障のないものであること。
- (6) 積載物の機能を損なうことなく安全かつ確実に積載できるものであること。
- (7) 資器材に必要な電気容量を確保できるものであること。
- (8) 後部バンパー部及び他の乗降部等、著しい摩擦が予想される箇所にはアルミ縞板等を貼付し補強を行うものとする。また、乗降部には縞板の上に滑り止めテープを施すこと。
- (9) すべてのガラスに撥水加工を施すこと。

2. 主要諸元等

- | | |
|---------------|---|
| (1) 型式 | 1BOXタイプ メーカー公表最新型 |
| (2) 寸法 | 全長 5,800mm 以下 全幅 2,000mm 以下
全高 2,600mm 以下 室内高 1,800mm 以上 |
| (3) 乗車人員 | 7名以上 |
| (4) 駆動型式 | 4輪駆動 |
| (5) エンジン | ガソリンエンジン |
| (6) オルタネーター | 150A 以上 |
| (7) バッテリー | 12V-120Ah 以上 |
| (8) ヘッドライト | LED または HID |
| (9) 変速装置 | オートマチックトランスミッション |
| (10) 総排気量 | 2,400 cc~3,000 cc |
| (11) タイヤ | ラジアルタイヤ (付属品としてスタッドレスタイヤ) |
| (12) 後輪照射灯 | LED で車両側面の後部タイヤ付近側に取り付けること。 |
| (13) バックブザー | 音声式バックブザーを取り付けること。 |
| (14) バックアイカメラ | 後方確認の補助として、モニター用カメラを取り付けること。 |
| (15) ブレーキ | ABS システムを装備すること。 |
| (16) ミラー | フロントアンダーミラー、リヤアンダーミラー及び助手席にインナーミラーを取り付けること。 |
| (17) ドア | サイドスライドドア及びバックドアは半ドア防止装置と |

すること

(18) ナビゲーションシステム

テレビ・ラジオ機能を有し、最新のナビゲーションシステムを装備すること。なお、モニターはフロント前面に埋め込み式とし、バックアイカメラと連動させること。

(19) その他装備品については別表1 II 取付け品及び取付け装置のとおりとして、取付け等については当本部と協議すること。

3. 屋根部外装

(1) 車両前部及び後部に大型赤色散光式点滅警光灯を前後左右から容易に視認できるよう取り付けること。なお、スピーカーの取り付け位置は別途協議すること。

(2) 無線用アンテナを取り付ける際、配線は車内（ルーフ内部）に施し、引き込み部は防水処理を行うこと。また、取り付け位置はルーフサイドする。

4. 車両側面外装等

(1) 車両側面患者室の助手席側窓ガラスは全面くもりフィルム、後ろ全面をくもりフィルムでミラー部を透明に施し、後面カーテンは運転席から操作できること。

(2) 車両側面患者室の運転席側窓ガラスは全面白色フィルムを貼り付けること。

(3) 車両側面作業灯（LED）を4灯（1側面2灯）取り付け、スイッチ操作は運転席で行えること。

(4) 車両側面上部に赤色散光式警光灯を4灯（1側面2灯）取り付け、大型赤色散光式点滅警光灯と連動させること。

(5) 右側スライドドア内に救助器具を収納（取付け）できるようにすること。また、収納箇所を照射できる照明を取り付けること。救助器具については別表1 II. 取付け品及び取付け装置（69）～（73）の器具とする。

(6) 車両側面上部にサイドフラッシャーランプを取り付けること。

5. 車両前面

(1) ヘッドライト間に赤色散光式点滅警光灯（LED）2個、バンパー付近に赤色散光式点滅警光灯（LED）2個を取り付けること。なお、大型赤色散光式点滅警光灯と連動させること。

(2) 純正品フォグランプを2個取り付けること。

(3) 中央部に台座を設け消防章を取り付けること。

6. 車両後面

(1) 車両後面ドアには、ハイマウントストップランプ及び上部両側に赤色散光式点滅警光灯（LED で大型赤色散光式点滅警光灯と連動）を設けること。また、バックドア

解放時、キャビネット後方に作動表示灯を2個設けること。作動表示灯付近に単独スイッチを設けること。

7. 運転室装備

(1) 電子サイレンアンプ (PATLITE 製 SAP-520RBV ハーモニックサイレン仕様または同等品) はフロントパネル中央部に設け、サイレン吹鳴時においてもマイクが使用できる回路とするとともに、音声合成装置を用いた警告音を発することができること。副サイレン (ウー) と各音声メッセージについては機関員が容易に操作できるように必要数増設すること。また、ナビゲーションシステム CD の音源を直接車外に放送できるようにスイッチを設けること。

音声メッセージ4種類・・・救急車が通ります、進路を譲ってください。

(類似の表現でも可) 救急車が交差点に進入します、進路を譲ってください。

救急車が右に曲がります、ご注意ください。

救急車が左に曲がります、ご注意ください。

(2) 副サイレン音 (ウー) のスイッチを付加すること。

(3) 救急自動車用装備関係の各種スイッチ類 (各スイッチは名板付) を適切な位置に集約して取り付けること。(別途協議)

(4) 運転席で使用できるフレキシブルマイクを取り付けること。

(5) モーターサイレンのスイッチはメインパネル及び運転席のハンドル付近で操作に不都合の無い位置に設けること。(別途協議)

(6) 計器盤に電流計及び電圧計 (照明付) を設けること。

(7) バッテリースイッチ、誤発進防止装置及びヒューズボックスを設けること。ただし、バッテリースイッチについてはイグニッションキーON/OFFにより特装電装品への回路が遮断可能な場合はバッテリースイッチとみなす。

(8) 全てのドアを1箇所集中してロック制御できること。

(9) 車載無線装置は既存車両からの移設及び既存予備車から新予備車とし、下記のとおり行うこと。取り付け位置については別途協議すること。

① 救急庄内1号→新規車両 (無線機本体、アンテナ、付属品)

② 救急由布2号→救急庄内1号 (無線機本体、アンテナ、付属品)

③ その他関係機器

ア. アンテナ取り付け位置についてはルーフサイドとする。また、取り付け位置まで同軸ケーブルを配線すること。

イ. 電源は車両 ACC で起動する電源を確保し「無線電源」と表示したヒューズホルダー (ヒューズ付) を経由して丸打ちビニールコードを用いて無線機取り付け位置まで結線余裕をとり配線すること。

ウ. 無線機本体の取り付け位置はAVMモニター用台に取り付け、スピーカーは運転室天井部と患者室内前方天井部に取り付けること。

エ. 送受話器は運転室及び患者室隊員席付近の2箇所に取り付けること。また、配線は無線機本体から12本シールド線に余裕をとり配線すること。

オ. 運転席後方、インバーターの位置に車載端末装置及び無線機の電源をとるヒューズボックスを取り付けること。

(10) 車載端末装置 (AVM) は既存車両からの移設及び既存予備車から新予備車とし、下記のとおり行うこと。

- ① 救急庄内1号→新規車両
- ② 救急由布2号→救急庄内1号
- ③ 車載端末装置 (AVM) の取り付け架台を運転席中央部の消防本部指定の場所に取り付けること。(別途協議)
- ④ GPS アンテナ用点検口を1箇所設けること。
- ⑤ 取り付けに係る費用はすべて受注業者負担とする。

(11) モバロケについて既存車両のものを当本部指定の箇所へ移設すること。なお、取り付けに係る費用はすべて受注業者負担とする。

(12) ドライブレコーダー及びETC車載端末は新規製品を運転操作に支障のない箇所(別途協議)に取り付けること。なお、取り付けに係る事務手続き及び設定等は、すべて受注業者で行うこと。

(13) 上着及びヘルメット掛けフックを2箇所設けること。

(14) 運転室と患者室を隔離できる壁を設けること。ただし、前後をスムーズに行き来できる扉を設けること。

8. 患者室内装備

(1) 患者室内の床面等は十分な防水処置を施し、ウォッシュアップ仕上げとすること。

(2) メインストレッチャー積載架台を設置し、次の機能を有するものであること。

- ① 加速度等により生ずる揺れを十分に吸収できる(防振架台)ものであること。
- ② 動力源として電源を使用しない構造であること。
- ③ 心肺蘇生実施時に防振機能を固定できること。
- ④ ストレッチャーの頭部側にヘッドパットを設けること。
- ⑤ 前後左右にスライドできること。(赤尾製 VCS-03 又は同等品)
- ⑥ メインストレッチャーがスムーズに搬入搬出できる構造とすること。

(3) 運転席後部とストレッチャー架台の間に救急資器材収納庫を設けること。

- ① 庫内に高さを調整できる棚を3段以上設けることができること。
- ② 収納庫付近に汚物入れを設けること。

(4) ルーフサイドに救急医療用品等を十分に収納できる密封蓋付きの資材収納ボックスを4箇所以上設けること。詳細な箇所及び数量は当本部と別途協議すること。また一部鍵付きとする。

(5) 助手席後部にAVM本体ユニットの収納庫を設け、この後面に手洗い装置、自動

手指消毒器及び収納ボックスを設けること。

- (6) 酸素ボンベ（10L型×2本）を固定でき格納する格納庫を設けること。
- (7) 運転席側側面の操作しやすい位置に酸素吸入装置の固定装置を設けること。酸素ボンベ格納庫からの配管は耐圧管で固定配管とすること。
- (8) 運転席側側面に別表1備考欄「※」を確実に固定できる棚を設け、固定した状態で操作が容易に行える配置とすること。また、輸液ポンプ固定用の位置調整が可能なポールを取り付けること。（別途協議）
- (9) 座席はメインストレッチャー頭部側にメインストレッチャー向きに、観察が容易にできる構造で1席、傷病者を除く他3名以上が着座できる座席（座席下には可能な限り資機材を収納できる収納庫）をストレッチャー架台横の助手席側側面に設けること。また全ての座席にシートベルトを設けること。
- (10) スクープストレッチャー及びバックボードを車両後部から容易に出し入れできるように収納ができること。
- (11) 照明設備は薄型蛍光灯を十分な照度が得られるように設置するとともに、メインストレッチャー頭部側天井部に患者灯を設けること。なお、これらは調光機能を有すること。
- (12) 天井部にはアシストグリップ及び網棚を前後2箇所設置、輸液瓶ホルダーをメインストレッチャー足側上部へ2箇所設けること。
- (13) 医療機器関係等スイッチを容易に操作が行える位置に設けること。
- (14) 救急用手袋及びティッシュペーパーの箱を固定できるホルダーを容易に取り扱える場所に設けること。
- (15) ホワイトボードを容易に書き込みでき、視認しやすい箇所へ取り付けること。
- (16) バックドア間口（助手席側）にアシストグリップを設けること。
- (17) C型バネ付きフックをモニター付近に5個、運転席後部収納庫に3個取り付けること。
- (18) アナログ式の電波時計を視認しやすい箇所に設けること。
- (19) オゾン発生装置（バクテクター等）を設置し、当装置の電源は外部電源（待機中）、インバーター（走行中）のいずれの場合でも作動できるようにすること。
- (20) 上着及びヘルメット掛けフックを3箇所設けること。
- (21) 運転席側側面に引き違い扉の資器材収納ボックス及び引き出し式収納を設けること。大きさ、設置箇所、数量については別途協議。
- (21) 遠隔画像伝送装置一式について既存車両のものを当本部指定の箇所へ移設すること。なお、取り付けに係る費用はすべて受注業者負担とする。
- (22) 患者室内の活動の支障にならない場所へ消火器（6型）を設置できること。
- (23) その他患者室内装備については当本部と協議の上必要な設備を設けること。

9. 電源設備関係

- (1) 車体外部リヤバンパー右側に車外よりAC電源を導入できる電源入力端子を設けるとともにプラグ付き接続コード10mを付属すること。なお、端子カバーには十分な防水処理及び防錆処理を施すこと。
- (2) バッテリーは純正品で容易に点検できる位置に格納すること。なお、車外電源によりバッテリー充電ができる充電器を取り付けること。
- (3) 電圧変換(DC12V→AC100V)用インバーターを積載医療機器等の容量を考慮し設けること(資機材メーカーと協議すること)。出力コンセントは患者室内に8箇所(位置別途協議)取り付けるとともに外部電源コンセントと共有化すること。なお、活動に支障のない位置とすること。

10. 空調設備関係

- (1) 空調設備は車両純正品(運転室及び患者室)を取り付けること。
- (2) 患者室に換気扇を取り付けること。

11. 記名表示

字体は丸ゴシック体とし、カッティングシート貼りとする。その他記入文字及び位置は次のとおりとする。

- (1) 車両両側面に緑色(再帰性反射材)で、左方向から「由布市消防本部」と記入。
- (2) 車両後部に緑色(再帰性反射材)で、左方向から「由布市消防本部」と記入。
- (3) 車両屋根部(対空表示)に黒色で、「救急」「庄内1」と2段で記入。
- (4) 車両前後面及び両側面に「庄1」と記入。
- (5) 車両後面及び両側面に、救急シンボルマーク(耐候性ステッカー)を貼り付けること。
- (6) 救急庄内1号の車両屋根部(対空表示)を黒色で、「庄内1」を「由布2」に貼り替えること。
- (7) 救急庄内1号の車両前後面及び両側面の「庄1」を「署2」に貼り替えること。
- (8) 上記の位置及びサイズ等については当本部と必ず事前に協議すること。

12. その他

- (1) その他詳細については、当本部と協議すること。
- (2) 付属品等について別表1 III. 救急資器材購入物品のとおりとする。

高規格救急車艙装等

I. 高規格救急自動車本体

摘 要	規格等	数量	備考
(1)高規格救急自動車 車両		1	

II. 取付け品及び取付け装置 ※患者室運転席側側面に固定可能

摘 要	規格等	数量	備考
(1)大型赤色散光式点滅警光灯 (LED) 前部		1	
(2)大型赤色散光式点滅警光灯 (LED) 後部		1	(1)と連動
(3)フロント赤色散光式点滅警光灯 (LED)	大阪サイレン製 LFA-150	2	(1)と連動
(4)フロントバンパー付近赤色散光式点滅警光灯 (LED)	大阪サイレン製 LFA-100	2	(1)と連動
(5)車両側面上部赤色散光式点滅警光灯兼作業灯 (LED)	大阪サイレン製 LFIA-300	4	(1)と連動
(6)後面赤色散光式点滅警光灯 (LED)	大阪サイレン製 LFA-150	2	(1)と連動
(7)サイドフラッシャーランプ		2	
(8)ハイマウントストップランプ		1	
(9)後部キャビネット内作動表示灯	小糸製作所製	2	
(10)フォグランプ	車両純正品	2	
(11)後輪照射灯 (メインスイッチ付き)		2	後輪付近照射
(12)消防章	150 mm	1	
(13)モーターサイレン		1	
(14)助手席アウトサイド補助ミラー		1	

(15)運転席・助手席サイドバイザー		2	
(16)フロントドアステップアルミ縞板取付け		2	
(17)左スライドドアステップアルミ縞板取付け		1	
(18)リアステップ(アルミ縞板・セーフティウォークタイプA付)		1	
(19)窓ガラスくもりフィルム(患者室左全面・ミラー部除く後ろ全面)		1	
(20)窓ガラス白色フィルム(患者室右全面)		1	
(21)文字記入	緑色 (再帰性反射材)	1式	
(22)救急シンボルマーク(スターオブライフ)		1式	車両両側面
(23)対空表示	黒色	1式	
(24)車両全周反射材(赤帯)	赤色(フロント以外再帰性反射材)	1式	
(25)バックブザー(後退警報器)		1式	メインスイッチ付
(26)コーナーセンサー		1式	インジケータ設置
(27)外部電源入力端子(AC100V)	マグネット式	1	防水・防錆
(28)サイレンスピーカー		1	
(29)電子サイレンアンプ	PATLITE 製 SAP-520RBV	1	
(30)音声合成装置		1	
(31)電流計・電圧計		1	
(32)カーナビゲーションシステム	TV・ラジオ機能付	1	
(33)スタータカット		1式	インジケータ設置
(34)誤発進防止装置		1式	インジケータ設置

(35)ハンドマイク		1	
(36)フレキシブルマイク 運転席		1	
(37)リヤガラスカーテン		1	運転席で操作可
(38)AVM モニター取付台		1	
(39)ETC		1	
(40)ドライブレコーダー	前後	1	
(41)メインストレッチャー	FERNO エクスチェンジ TC4080-S	1	
(42)ストレッチャー架台	防振ベッド（赤尾製 VCS-03 又は同等品）	1	※動力源として電源 を使用しないもの
(43)救急資器材収納庫		1	運転席後方
(44)室内ルーフサイド資材収納ボックス	一部鍵付		箇所・数量 協議
(45)輸液ポンプ固定用パイプ		1	※
(46)手洗い装置・収納ボックス		1	
(47)酸素ボンベ格納ボックス		1	10L 型×2 本
(48)加湿流量計	Oxipac OX-FDX	1 式	※
(49)加湿流量計増設マニホールド	川重型 2 口	1 式	※
(50)加湿流量計 予備ボトル		2	
(51)患者室内薄型蛍光灯	調光機能付	4	患者室天井部
(52)患者灯	調光機能付	2	患者室天井部
(53)アシストグリップ		1 式	患者室天井部
(54)網棚		2	患者室天井部
(55)輸液瓶ホルダー		1	患者室天井部

(56)ボックスホルダー		3	ティッシュ等
(57)ホワイトボード	A4 サイズ程度	1	
(58)アシストグリップ		1 式	バックドア一間口
(59)アナログ式電波時計		1	設置箇所協議
(60)温湿度計		1	※
(61)C 型バネ付きフック		12	設置箇所協議 運転室・患者室
(62)車輪止め	ゴム製	1 組	
(63)スタッドレスタイヤ	アルミホイール付	5 本	
(64)タイヤチェーン		1 式	
(65)車両用工具	純正品	1 式	
(66)三角表示盤	純正品	1	
(67)フロアマット	純正品	1 式	運転席・助手席
(68)汚物入れ		1	
(69)消火器	6 型	1 本	
(70)600mm L 型バール		1	救助器具
(71)万能斧	レスキューアックス	1	救助器具
(72)ガラスカッター	グラスマスター	1	救助器具
(73)シートベルトカッター		1	救助器具
(74)ボルトクリッパー		1	救助器具
(75)無線機載せ替え	救急庄内 1→新車 予備車→救急庄内 1		
(76)AVM 載せ替え	救急庄内 1→新車 予備車→救急庄内 1		

(77)モバロケ載せ替え	救急庄内1→新車		
(78)遠隔画像伝送装置載せ替え	救急庄内1→新車		※
(79)記名表示			
「由布市消防本部」	再帰性反射材 緑色	3	両側面 後面
「庄1」	再帰性反射材 緑色	4	前後面 両側面
「救急 庄内1」対空表示(2段)	黒色	1	天井面
「署2」 既存車両貼替	再帰性反射材 緑色	4	既存車両 前後面 両側面
「由布2」 既存車両対空表示貼替	黒色	1	既存車両 天井面
(80)隔壁扉	運転室と患者室を隔離できる構造であること		

Ⅲ. 救急資器材購入物品 ※患者室運転席側側面に固定可能

摘要	規格・参考品等	数量	備考
1. 呼吸管理・気道確保用資機材			
(1)自動式人工呼吸器	アンサー	1式	※
関連附属品		1式	
(2)喉頭鏡(ケース付)	LEDハンドル ウェルチアレン	1式	
LED交換球	06000-LED	2個	
(3)ビデオ喉頭鏡	McGRATH™MACMODEL AO3	1式	
関連附属品		1式	
(4)吸引器	アキュバック・プロ	1式	※
関連附属品	点検パック9年含む	1式	

2. 患者監視装置・除細動器			
(1)患者監視装置・除細動器	ZOLL X series	1 式	※
関連附属品		1 式	
3. 心肺蘇生用資器材			
(1)自動心肺蘇生器	CLOVER3000	1 式	
関連附属品		1 式	
4. 固定・搬送用資器材			
(1)ハイテクバックボード	モデル 2010	1 式	
ストラップ		6 本	
ヘッドイモビライザー		2 式	
イモビライザーバック		2 個	
スクープ用ヘッドイモビライザー		1 式	
(2)ターポリン担架		2 式	
(3)ストレッチャーカバー		2 個	
5. 観察用資器材			
(1)アンドロスコープ 電子聴診器	アンドロメド社	1 式	
(2)フィンガーパルスオキシメーター	Oxi cute	2 式	
(3)血圧計	レジーナ II	2 式	
(4)ウォール型アネロイド血圧計		1 個	※

(5)電子体温計	テルモ C206 低体温対応	2本	
(6)非接触式体温計	フォラケア	2式	
6. その他資器材			
(1)お産セット		1式	
(2)ガスサプライバルブ		1式	
上記用アダプター		1個	
(3)リングカッター		1式	
替刃		2個	
(4)エマージェンシーシザー		1本	
(5)救急止血帯		5個	
(6)EB 防水呼吸器系用救急バッグ	EB02-007	1個	
(7)EB 一次救命処置用救急バッグ	EB02-008	1個	
(8)ウエストバッグ		2個	
(9)腕自慢		1式	
(10)装着型注射トレーナーIVPad		2式	
(11)アンプ蘇生バック マークIV		1式	
酸素リザーバーバック		1個	
シリコンカフマスク	OA・#0・#2・#4・ #5	各1個	
(12)アンプシリコン製オーバルプラス		1式	
(13)ラリングルチューブ	LTS #4・#5	各1箱	
(14)トーマスチューブホルダー		10個	
(15)スティフネックセレクト	成人用	5個	

	小児用	2個	
(16)ファーストレイト PE シューズカバー		4箱	
(17)血糖測定システム	メディセーフ本体+ファインタッチプロ	1式	
関連品	針	2箱	
(18)保冷温庫	HANSHUMY AQ-15L又は同等品	1式	
(19)オゾン発生装置	バクテクター03 BT-03	1式	